



広町自治会
会長 猪俣 武雄
802-2391

《9月11日実施、在宅型防災訓練の最終報告》

「報告書提出数 459 自治会会員数 800」

訓練1、災害時安否確認カードの掲示訓練

掲示した(315) 掲示しなかった(53) カードが無い(6)

訓練2、家庭用火災警報器の動作確認

延べ設置数(955) 動作確認した(288) 動作不能(11)
電池交換した(4) 新たに設置した(18)

訓練3、家庭用消火器の設置数と点検

延べ設置数(255)

訓練4、感震ブレーカーの設置

設置済み異常なし(215) 未設(212)

訓練5、非常持ち出し袋、中身の点検

内容を確認した(209) 未確認(53) 未設置(81)

訓練6、「いつとき避難場所の確認

確認(470) 未確認(38) 近くに無い()

訓練6、「足もとを守る」厚底の履き物を身近に準備する

準備あり(271) これから準備(97) 必要ない(7)

「今回の訓練は、運動会と一緒にしている防災訓練、運動会が中止となり、コロナ禍の中でも出来る訓練と考え実施しました。各家庭の防災の参考にしていただきたいと思います。カードが無いと回答された方が6名ありました。5名の方にはお届けしましたが、1名だけ名前のみの方がありました。心当たりの方は組長さんまでお申し出下さい。

《中田中学校地域防災拠点の防災訓練実施》

10月29日

コロナウイルスの影響で数年間行われなかった防災訓練、今回は運営委員対象で実施されました。メンバーも替わり数年使用していなかった機材の点検にも、戸惑いながらも有意義な訓練になりました。次回は地域の皆さんと一緒に訓練を実施したいと思います。

《自転車の交通違反取り締まり強化が始まりました。 「警告」から「赤切符」へ》

自転車の悪質な交通違反について警視庁は、これまで「警告」にとどめていた違反にも刑事罰の対象となる交通切符、いわゆる「赤切符」を交付して検挙する取り締まりが始まりました。

自転車が関係する事故が減少する方向が見られないため、取り締まり強化になりました。特に、「信号無視」「一時不停止」「右側通行」「徐行せず歩道走行」が対象となっています。

自動車運転で禁止されている、飲酒運転やスマホしながらの運転は当然禁止です。

電動アシスト自転車の増加と共に、自転車のスピードが速くなっています。自転車と歩行者の事故では、頭部損傷の割合が多くなり重大事故につながっています。

交通ルールの啓発などに取り込む日本自転車普及協会では自転車の交通違反が多い現状について「新型コロナウイルスの感染症拡大などの影響で自転車の利用者は都内でも増えていると考えられる。自転車は法律上「車両」にあたるが、免許は必要ないため、交通ルールをしっかりと学ぶ機会が少なく、特に都市部では左側通行などの基本的なルールを守っていない人が少なくないのが現状です。自転車は安全に利用すれば、適度な運動にもつながるとても便利で、最も身近な移動手段だ。その一方で、ひとたび事故が起これば命に関わる危険性もあるので、利用する際は自転車が車の仲間だという意識で交通ルールをしっかりと守ってほしい」と話していた。



もう一度確認を

『自転車も乗れば車の仲間入り』

「令和4年度泉区社会福祉協議会賛助会員に
ご協力いただきありがとうございました。」

今年度の広町自治会の募金金額は、165,000円（153世帯）でした。この泉区社会福祉協議会賛助会員の協力金の50%は、中田地区の社会福祉協議会に還元され、敬老会を始め中田地区の各種行事に使用されています。



広町のホームページを開くには !!

[広町自治会](#) 🔍 [検索](#)

QRコード

